

録画機能の活用例

～自分のスピーチを撮影し、改善に生かす～

事例の特徴	(準備) ★ ☆ ☆		
	(教員の I C T活用能力) ★ ☆ ☆		
校種・学年	小学校・中学校	教科等 領域・ 分野等	国語
ICTを活用した 学習場面	B 1 個に応じる学習		A 話すこと・聞くこと
ICT 機器等の 準備等	①授業時：タブレット端末等（録画・再生ができるもの）		

1 事例の概要

ペアでスピーチの様子を録画・再生を繰り返しながら確認し、互いのスピーチを改善するようにしていく。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

- 導入時にスピーチのグッドモデルを動画で提示することで、単元のゴールの姿を視覚的・聴覚的に捉えることができる。
- 一人ひとりがタブレットを用いて動画を確認し、自分の学習段階（口形や姿勢、資料の扱い方等）を視覚的・聴覚的に実感させることができる。
- 周囲の雑音を拾うため、自分の学習段階（話し方の強弱や間の取り方等）を聴覚的にとらえることをねらうのであれば、音声はマイクで拾うなどの工夫が必要である。

3 資料

資料の扱い方を確認している様子



グッドモデル（単元の導入時に提示）を確認してから自分の動画を確認するようになりたい。

小学校の低学年であれば、口形に着目する学習もある。その場合には、口元をアップにすることで、より細かな確認が可能になる。

ペアで確認している様子



本時の学習内容を踏まえた評価規準を設定しておくことで、既習を生かしたアドバイスが可能になる。

評価のポイントになった箇所を繰り返しながらアドバイスし合うことで、交流を深めることができる。